

第5回 グアムドラゴンボートフェスティバル* 参加報告書

*正式名称 The 5th Guam Dragon Boat invitational Thanksgiving Festival

チームマネージャー 丸山春海
(TAITAM X DRAGONS)

第5回グアムドラゴンボートフェスティバルに参加させていただきましたので、下記の通りご報告いたします。

1. 開催概要

- 開催日程 2023年11月18日(土)・19日(日)
- 開催場所 The Matapang Beach Park, Tumon, Guam
- 参加チーム 5か国・地域 9チーム (グアム2、フィリピン4、韓国1、台湾1、日本1)

グアム: HAGGAN, TTG **フィリピン:** TRITON, AMPPHI, PEMCOR, PDBF ELITE
韓国: TEAM KOREA **台湾:** TAIWAN x JAPAN DRAGON BOAT TEAM **日本:** KONNICHIIWA!

- カテゴリー スモールボート(12人乗り) オープン、女子、混合、シニア混合 3艇レース
- 主催 Guam ACES Inc. Guam Dragon Boat Federation (GDBF)
- 協力 グアム観光局とその提携先
- スケジュール 11/18(土) Day1 直線400mレース、日本チームで懇親会実施
11/19(日) Day2 直線200mレース、セレブレーションパーティー

2. 日本チームの参加・戦績

- 参加形態 計6チーム・22名で混成チーム「KONNICHIIWA!」を結成して参加(男性9名・女性13名)
現地で初めて集まり、各カテゴリークルーを編成
- 構成チーム 関西龍舟、上海国際龍舟隊、チャイナドル・チマキ、香港日本龍
TAITAM X DRAGONS
- エントリー内容 各クルーが上記カテゴリーに2~3カテゴリーにエントリー
- レース結果 予選~決勝戦のタイムの発表がされていないため、予選・準決勝タイムによる順位のご報告となります。

Day 1 400m	オープン	予選敗退	8チーム中7位
	女子	準決勝敗退	5チーム中4位
	混合	予選敗退	9チーム中7位
	シニア混合	準決勝敗退	4チーム中4位
Day 2 200m	オープン	準決勝敗退	8チーム中6位
	女子	準決勝敗退	5チーム中4位
	混合	準決勝敗退	9チーム中4位
	シニア混合	準決勝敗退	4チーム中4位

フィリピンのTRITONがエントリーしたカテゴリーのほとんどで1位を獲得し、TRITONが成さなかった1位や2位・3位はグアム勢とフィリピン勢が獲得。

<全般>

- ・多くのレースで、後半他艇に引き離されていく展開が続いた
- <400mレース>
- ・多くのクルーが400mレースに慣れておらず、特に後半苦戦
- <200mレース>
- ・混合はスタートで出て、激しい接戦を繰り広げたレースができた
準決勝2位であったが、もう1つの準決勝レース2位チームとわずかに0.01秒差で決勝進出を逃した
- ・オープンには男性漕手7名、女性漕手3名で臨んだものの、健闘し、準決勝へ進出した
- ・女子は漕手、太鼓手、舵手全員オール女子で臨み健闘したが入賞に届かなかった
- ・シニア混合は他チームとの実力差がはっきり出て、引き離される展開が続いた

3. 所感

大会主催・運営の皆様の温かいおもてなしを受け、参加者一同、安全かつ楽しくレースを楽しむことができました。大会参加目的を「海外レースを経験」「他国・地域のチームとの交流や情報交換」「日本国内のチーム同士の交流」「多く漕ぎたい意欲のある参加者の要望への対応」「ドラゴンボートを楽しむこと」に設定しました。特に初めての海外遠征となるクルーにとって、この大会は日本を離れて「初めて知る」ことが多い貴重な機会になったことと存じます。

残念ながら3位入賞には届きませんでしたが、上位チームとの競漕を通じて多くの学びと気づきを得ることができました。これら気づきを自チームに持ち帰り、国内の競技レベル向上に寄与することが期待されます。

また、レースデーの2日間を通して、ドラゴンボートの魅力を再認識し、各国クルーと友好関係を築くことができました。これは今後、各クルー自身のモチベーション向上や競技人口発掘行動に繋がるものと期待できます。多くの競技者が海外レースを経験することで、日本国内の競技や普及に繋がる流れを作り出せることを期待しています。

最後に、大会主催・運営の皆様、そしてグアム遠征を許可して下さいましたJDBAの皆様へ感謝申し上げます。

以上

参加クルーの声（帰国後、日本チームのクルーにアンケートをとりました。21人中19人回答）

- ・どの質問からも「綺麗な海で漕げること」「運営・各国チーム選手との交流」「フレンドリー」という好感をもったコメントが伺えます。
- ・一方、混成チームゆえに事前にコミュニケーションがとれなかったことやメダルを取れなかったことに対する思いも感じられます。
- ・海外チームとの実力差と自分たちの体力・スタミナ不足を認識できたフィジカル面での気づきも得られました。

Q1 今回のグアムレースに参加された感想を一言（複数回答）

回答	人数
グアムの素晴らしい環境で漕げたことに感謝・感動	8
各国と選手との交流を通じ、視野が広がった	7
楽しかった	6
次回も参加したい	4
メダルを取りたかった	3
海外チームの実力を知れた機会になった	3

Q2 強く印象に残ったこと（複数回答）

回答	人数
砂浜、きれいな海で漕げる楽しさ	7
開放的で温かなレース運営	6
開催スタッフ、他チームの皆さんがフレンドリー	3
レースを経る度にチームがまとまっていったこと	3
レーン際で観戦できたこと	2
他チームの漕ぎの違い、実力差を知れたこと	2
海外チームのレースに対する情熱	1
余興をチーム一丸で取り組めたこと	1
メダルまでもう少しだったこと（200m 混合は3位まで0.01秒差の4位）	1

Q3 レース中よかったと思った点（複数回答）

回答	人数
混成チームメンバーがフレンドリーで、一丸となって漕いで楽しめたこと	4
各チーム皆フレンドリーで友好的、たたえ合っていたこと	3
国内他チームとの人脈ができたこと	2
海がきれい	1
DJ が万国共通で楽しめる音楽を繋ぎ続けてくれたこと	1
提供された昼食がおいしかった	1
提供された朝食を食べて、ゆったり時間を過ごしてレースが始まること	1
全てが好感	1
海外勢の力強さを近くで感じられたこと	1
日本チームの存在を他チームに思う存分にアピールできたこと	1
代表派遣に依らない形で海外チームの漕ぎを勉強できたこと	1
国内他チームメンバーと一緒に漕いでいい経験になったこと	1
1日にたくさん漕げたこと	1



クロージングパーティーで披露するソーラン節の練習



おいしいランチボックス

Q4 混成日本チームの行動で改善できるといと思われる点 (複数回答)	
回答	人数
余興に賞金が出るなら、余興の準備・練習に力を入れてよかった	4
レース前にコミュニケーションをとれなかった点 → クルー現地到着日が様々	3
スケジュールが密で連続してレースに参加しなければならなかった点 → 勝ちを狙えたカテゴリーでスタミナ切れになった	2
強くなる、入賞を目標に注力できたらいい点 → 入賞を逃した	2
レース前日練習を実施できればよかった → フリータイムを過ごすクルーや練習時間帯後の到着クルーもいて実施は難しかった	2
カテゴリー別にレースプラン等共有する時間をもう少し持てればよかった	2
エントリー費(USD180)が高かった点 → 事前に概算を知れたらよかった	1
ラストスパートでの体力不足 → ラストで引き離されがちだった	1
ホテルの手配が 確定できているか不安だった → レイトエントリーだったため、主催者からのホテル確定連絡があいまいだった	1
無回答	3



DAY1 のレース後は「KONNICHWA！」懇親会



セレブレーションパーティーでソーラン節を披露

Q5 レース遠征*についての満足度 *レース、招聘内容、Team Nippon KONNICHWA!での行動	
回答	人数
5 想定以上に大変よかった	10
4 想定通りでよかった	9
3 まあまあ	0
2 つまらなかった	0
1 想定以下でつまらなかった	0
無回答	0



レース前の雨上がり、虹が出ました。皆でハッピーな気持ちで1日過ごせました。